

<ご利用料金>

■入場料 無料



■有料コンテンツ

【3505号車デジタル動態保存】ご利用料金

運転体験・車掌体験 ※5月上旬から開始予定	有料(料金未定)
車内見学	無料

※SANZEN-HIROBA内の混雑が予想されるため、5月上旬までは、係員によるデモンストラクション運転を行います。運転体験・車掌体験の受付は5月上旬から開始の予定です。各種体験の料金や受付方法は、KUZUHA MALLのホームページ等で追ってご案内いたします。※混雑時には、車内見学を中止することもあります。

【京阪沿線ジオラマ】ご利用料金

鉄道模型運転 1回(約3分)	200円
----------------	------

※上り・下りを選んで運転できます。  
※「ひらかたパーク」「京都の祭行列」のからくり操作は無料です。

【運転シミュレーター】ご利用料金

8000系	1回(約5分) 300円 ※抽選制
2600系 ※5月上旬に登場予定	1回(約5分) 300円 ※抽選制

※運転体験区間は混雑状況や日時により異なります。運転体験区間の指定はできません。

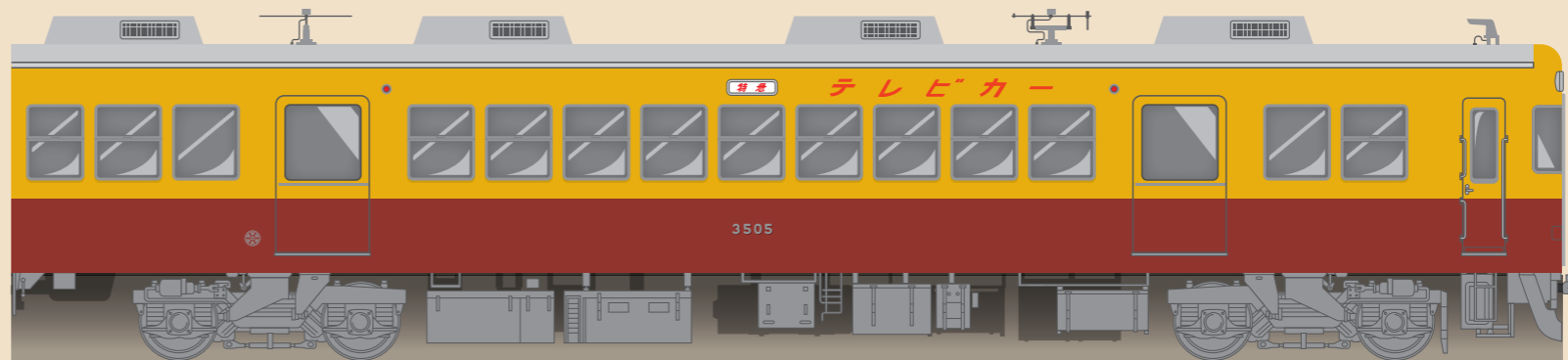
【運転シミュレーター】抽選時間・ご利用時間帯

	抽選時間	ご利用時間帯
①	10:00	10:00 ~ 12:00
②	11:50	12:00 ~ 14:00
③	13:50	14:00 ~ 16:00
④	15:50	16:00 ~ 18:00
⑤	17:50	18:00 ~ 20:40

※抽選はSANZEN-HIROBA内で行います。  
※早くからお並びいただいても、抽選結果には反映されません。  
※混雑状況により、上記内容を急遽変更する場合があります。

<ご利用にあたって>

- レイルゾーン内(テレビカー車内含む)では、飲食はご遠慮ください。
- SANZEN-HIROBA内は撮影可能ですが、通路およびその他館内は撮影禁止です。また、三脚や脚立等は使用禁止です。
- 小さなお子さまの運転シミュレーターのご利用は、保護者同伴でお願いします。



SANZEN  
HIROBA



SANZEN-HIROBA

アクセス

京阪電車樟葉駅下車すぐ  
KUZUHA MALL 南館 ヒカリノモール1F

営業時間

10:00~21:00(年中無休)

KUZUHA MALL





京阪電車を見て、知って、体感できる  
ライブ感あふれるミュージアムゾーン  
SANZEN-HIROBA



**① 3505号車デジタル動態保存**

初代「くずはモール街」と同じ昭和47年(1972年)にデビューし、平成25年(2013年)3月末に引退した、特急用車両「旧3000系」の先頭車(3505号車)をデビュー当時の「テレビカー」の姿で展示。世界に例をみない「デジタル動態保存」を実現し、実際に線路上を走行しているかのようにリアルな運転や乗車体験をお楽しみいただけます。

※運転体験・車掌体験は有料(5月上旬から開始予定)。  
車内見学は無料。  
※混雑時には、車内見学を中止することもあります。

**③ わたしのまち・京阪沿線**

**④ 京阪沿線ジオラマ**

**⑤ 京阪電車の進化**

**⑥ 京阪電車デジタルライブラリー**

**① 3505号車デジタル動態保存**

**② 京阪電車全線全駅いま・むかし**

レイルゾーン  
イベントゾーン

**⑦ 運転シミュレーター**

**⑧ 大型ビジョン**

**⑨ ト레인ウォール**

**② 京阪電車全線全駅いま・むかし**

京阪線および大津線全線の全89駅の現在と昔の写真を展示しています。

**③ わたしのまち・京阪沿線**

琵琶湖・洛北から大阪湾まで、滋賀・京都・大阪の京阪沿線の広がりや壁面に設置した衛星画像のパネルで俯瞰することができます。嵐電や叡山電車などグループ会社路線も表示しています。

**④ 京阪沿線ジオラマ**

大阪から京都・滋賀まで京阪沿線の豊富な魅力を凝縮したジオラマです。ジオラマの中を走る京阪電車のHOゲージ鉄道模型を運転することができます(有料)。 ※ジオラマ内の「ひらかたパーク」「京都の祭行列」のからくり操作は無料。

**⑤ 京阪電車の進化**

京阪電車の開業から現在にいたるまでの歴史を、「進化」という観点から壁面パネルで紹介しています。

**⑥ 京阪電車デジタルライブラリー**

「歴代の車両」「京阪線の駅発車メロディ」「路線案内図の変遷」をタッチパネル式のモニターで紹介します。

**⑦ 運転シミュレーター(8000系)**

8000系特急車両の先頭部モックアップに設置した実車の運転台で、京阪電車の運転体験をお楽しみいただけます(有料・抽選制)。  
※2600系運転シミュレーターは5月上旬設置予定。

**⑧ 大型ビジョン**

55インチ×9面のマルチビジョン。さまざまな情報を発信するほか、運転シミュレーターの画像を映し出すことも可能です。

**⑨ ト레인ウォール**

旧3000系特急車両がデビューした頃のダイヤグラムの一部を車両の設計図とともに一面にデザインしています。壁面の柱付近には、懐かしいヘッドマークや歴代使用してきたレールを展示しています。

